



令和 2 年度

# 運営に関する計画

～最終評価～

大阪市立住吉中学校

令和 3 年 2 月

## 大阪市立住吉中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

十数年前には、本校も例外ではなく学校の荒廃が進み、問題行動があった。現在は、教職員の指導力とチームワークで、落ち着いた雰囲気と静かな環境で、日々の学校生活を送れるようになった。また、PTA・地域のみなさんも、正常化に向けて協力を惜しまず支援いただいた結果である。

学力面は大阪市や大阪府より高く、全国レベルの学力で推移している。しかし、複雑な家庭環境を背負う生徒、SNSによる表面的な仲間関係、不登校生徒の増加、長年本校教育を推進してきた教員の異動など、不安定な要素を持ちつつ、いつ数年前の状況に戻ってもおかしくない緊迫した状況であることに変わりはない。そこで、「住吉中学校を荒らしてはならない」という強い信念を持ち、本校の教育を良い方向に導き、「生徒・教職員が安全で安心な」教育環境を守り、校訓の「自主・協調」のもと、生徒が生き生きとし自ら考え行動できる住吉中学校を創る。

- 1 学校教育目標「確かな学力と豊かな人権感覚の醸成と育成」を目標として、「自分を大切にし、周りの人たちとともに夢をきり拓く子どもたち」という子ども像実現のため、「人にやさしい生徒、人にやさしい住吉中学生」を育てる。そのため、基本的人権の尊重を基盤に、教科指導・生活指導・部活動の3つの調和を保ち、落ち着いた状況で、活動・学習ができるよう環境づくりをすすめる。
- 2 大阪市内で部活動に関わって尊い命が失われたことは事実である。このことを真摯に受け止め、本校から体罰・暴言のない、活気ある学校をつくりあげる。この事件を教訓にして、スポーツ・文化活動そして、学習にも全力で取り組む生徒を育てる。
- 3 学力向上に向け、習熟度別授業・TTなどの取り組み、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、ICT機器を積極的に導入するなど魅力ある授業づくりを推進する。また、学力向上に向け、研究授業・公開授業を積極的に行う。
- 4 「チーム住吉」として教育活動を展開する。日常の教育活動における課題解決に向け、教職員集団としての協力を大切に活動を行う。生徒指導において「寄り添いながら厳しく(まず寄り添うことを一番に)」を徹底し、「あいさつ・掃除・部活動」をキーワードに、規則正しい生活習慣を身につけさせる。
- 5 「行事を通して生徒を育てる」を目標に、「生徒が主役」の学校づくりに取り組み、文化的行事・体育的行事が、一貫した流れの中で、系統的・継続的になるよう、学校行事を行う。

## 中期目標

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和2年度の生徒アンケート「学校生活は楽しい」、保護者アンケート「子どもは楽しく学校生活を送っている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒・保護者の割合を100%とする。
- 令和2年度末までの校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%とする。
- 令和2年度の全国学力・学習状況調査、校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を95%以上とする。
- 令和2年度末までの校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 令和2年度末までの校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。
- 令和2年度の全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を80%以上とする。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける標準化得点<sup>※</sup>を、平成28年度の標準化得点より向上させる。
- 令和2年度に実施される全国学力・学習状況調査、中学生チャレンジテスト、大阪市統一テストにおいて、それぞれ全国・大阪府・大阪市の平均正答率を上回る。
- 令和2年度の生徒アンケートにおける「授業はよく理解できている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。
- 令和2年度の全国学力・学習状況調査における「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を70%以上にする。
- 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点を平成28年度(男子45.07点 女子56.68)より2ポイント向上させる。
- 令和2年度の全国学力・学習状況調査における「朝食を毎日食べている」「毎日、同じぐらいの時刻に寝ている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を平成28年度(前問91.6% 後問70.0%)より増加させる。

※各年度の調査の大阪府の平均正答数がそれぞれ100となるように、標準化した得点のこと。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

#### 全市共通目標

- ① 令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ② 令和2年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。
- ③ 令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- ④ 令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

#### 学校の年度目標

- ⑤ 令和2年度の生徒アンケートにおける「学校生活は楽しい」、保護者アンケートにおける「子どもは楽しく学校生活を送っている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒・保護者の割合を前年度(生徒86% 保護者86%)より増加させる。
- ⑥ 令和2年度の全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度(72%)より増加させる。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 全市共通目標

- ① 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ② 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- ③ 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の2割以上上回る生徒の割合を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- ④ 令和2年度の全国学力・学習状況調査における「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度(65%)より増加させる。
- ⑤ 自校での体力・運動能力調査における体力合計点を、前年度(男子42.57点 女子54.03点)より増加させる。

#### 学校の年度目標

- ⑥ 令和2年度の生徒アンケートにおける「授業はよく理解できている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度(81%)より増加させる。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

- 本年度の生徒アンケートにおける「学校生活は楽しい」について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答えた生徒の割合は83%、保護者アンケートにおける「子どもは楽しく学校生活を送っている」について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答えた保護者の割合は83%であった。残念ながら、前年度(生徒86% 保護者86%)より増加させる結果を得ることはできなかった。要因としては、コロナ禍の影響により、1学期は教科授業の実施に終始することとなり学校行事や学年行事を運営できなかったことや、1年間を通じて予定して行事計画の時間縮小や中止をせざるを得ない状況であり、また、日常の教科授業についても実施期間の短縮に伴う進行計画の変更等が影響したと言わざるを得ない。一方限られた時間の中では大きな達成感を得ることができる行事の運営ができた場面も多く、生徒の大きな成長には繋げることができており、3ポイントの減少にとどまることができた結果であったと推察できる。
- 本年度の生徒アンケートにおける「授業はよく理解できている」について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合は77%であった。残念ながら前年度(81%)より増加させる結果を得ることはできなかった。要因としては、同じくコロナ禍の影響により、教科授業の実施期間が圧縮され、いつまた『緊急事態宣言』の発出によって学校休業が実施されるかもしれないという状況下の中で、余裕をもった教科授業の実施展開が難しく、教育課程を年度内に実施するための工夫として演習時間の削減や、実習・実験、あるいは、実技練習の実施が難しかった事実があげられる。教員が総力をあげて、教育課程の実施に取り組むことはできたが、一方では、よりわかりやすい授業展開を落ち着いて行う状況ではなく、次年度以降は今年度培った授業展開の工夫を加えながらも、子どもたち一人ひとりの更なる学習意欲の向上を目指し、授業改善を図りながら、よりわかりやすい授業実施を進めていきたい。

(様式2)

## 大阪市立住吉中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標</b></p> <p>① 令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>② 令和2年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>③ 令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>④ 令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>⑤ 令和2年度の生徒アンケートにおける「学校生活は楽しい」、保護者アンケートにおける「子どもは楽しく学校生活を送っている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒・保護者の割合を前年度(生徒86% 保護者86%)より増加させる。</p> <p>⑥ 令和2年度の全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度(72%)より増加させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>全校集会や学年集会の場で、学校のきまりや規則についての話をしたり、毎月学校生活アンケートを取ったりして意識付けをする。また、各生徒専門委員会からの主体的な取組を組織する。(生活指導部)</p> <p>指標 生徒アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上とする。</p>	B
<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>教育相談や家庭訪問を行い、生徒の実態を把握するように努める。また、学校行事を活発に行い、生徒同士がお互いを認め合える関係を築けるように努める。(生活指導部)</p> <p>指標 令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p>	B

取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】 「共に学び、共に育ち、共に生きる」インクルーシブ教育を推進する。 (共生教育係)	A
指標 個別の教育支援計画を作成し、年2回以上の検討会を実施する。また、障がい理解する教育や男女共生教育を各学年1回以上実施する。	
取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】 人権教育年間指導計画に基づき教育実践を行い、人権感覚豊かな生徒(集団)の育成に努める。 (地域連携係)	A
指標 生徒アンケート「まわりの仲間を大切に思って行動している」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上とする。	
取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】 自己肯定感を育む系統的なキャリア教育や進路指導を充実させる。 (教務部・進路指導)	B
指標 生徒アンケート「自分の将来や進路や生き方について考える機会がある」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上とする。	
取組内容⑥【施策2 道徳心・社会性の育成】 音楽やその他の芸術を体験する機会を創り、豊かな心を創造する。 (地域連携係)	C
指標 芸術鑑賞の機会を年間1回以上実施する。	
取組内容⑦【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 自立的な生活習慣や健康と美化に対する意識を高める。 (健康教育部)	A
指標 生徒アンケート「清掃活動や学校生活全般で、校内美化に努めている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を昨年度以上とする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①「学校のルールを守って活動している」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合は95%だった。全校集会や学年集会の場で、規則の注意喚起や、各委員会の生徒からも各分野の特色ある取り組みを発表させることができた。	
取組内容②コロナ禍でも、文化祭や体育大会といった学校行事をできる範囲内で活発に取り組ませることができた。家庭訪問はできず、教育相談は全学年で実施できていない。	
取組内容③個別支援計画の検討会を一回実施した。また、1年生、2年生は共生学習や福祉学習を行った。	
取組内容④「まわりの友だちを大切に思って行動している」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合は96%だった。全学年、班活動で学校生活を行い、人権感覚豊かな生徒(集団)の育成に努めることができた。	
取組内容⑤生徒アンケート「自分の将来や進路や生き方について考える機会がある」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合は85%で指標値85%以上をクリアすることができた。2年生・3年生になると、自分の将来や進路や生き方を考えることが増えている。	



<p>取組内容⑥今年度はコロナ禍で芸術鑑賞会は行えないこととなった。</p> <p>取組内容⑦毎週金曜日に生活委員が清掃点検を実施し、破損場所などに早く気づき、対応できるよう努めた。「清掃活動学校生活全般で、校内美化に努めている」の項目で「よくあてはまる」と答えた生徒の割合が、昨年度より10%多くなっていた。</p>
<p>今後の改善点</p>
<p>取組内容①アンケート結果よりも、ルールを守れていない生徒や、登校時間が遅い生徒がいるのが実情で、さらに指導していく必要がある。集会だけでなく、登校時に正門で指導したり、各委員会の発表内容をわかりやすくしたりして、全校生徒が理解し、改善に向けて行動するように努める。</p> <p>取組内容②欠席が続いている生徒は、できるだけ家庭訪問を行い、直接会って話をするように努める。また、来年度もコロナ禍で教育活動を進めていくと想定し、行事内容の精査と、創意工夫をして新しい企画を考えていかなければならない。</p> <p>取組内容③今後、全学年での性教育や検討会も実施予定である。来年度は、教職員向けの研修など実施していきたい。</p> <p>取組内容④来年度もコロナ禍での教育活動と想定し、取り組み内容を精査したり、創意工夫をして新しい企画を考えたりする必要がある。</p> <p>取組内容⑤3年生は進路選択に向けてキャリア教育を進めたが、2年生・1年生については、今後も新型コロナウイルス感染対策のため毎年行っている取り組みができないことが予想されるので、それに代わる取り組みを考える必要がある。</p> <p>取組内容⑥来年度の芸術鑑賞会の内容や、鑑賞する形式を考えていく必要がある。</p> <p>取組内容⑦今後も清掃点検を丁寧を実施し、破損場所への対応を早くする必要がある。</p>



大阪市立住吉中学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標</b></p> <p>① 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>② 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。</p> <p>③ 令和2年度の中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の2割以上上回る生徒の割合を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。</p> <p>④ 令和2年度の全国学力・学習状況調査における「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度(65%)より増加させる。</p> <p>⑤ 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点を、前年度(男子 42.57 点 女子 54.03 点)より増加させる。</p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>⑥ 令和2年度の生徒アンケートにおける「授業はよく理解できている」の項目について、「よく当てはまる(やや当てはまる)」と答える生徒の割合を前年度(81%)より増加させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>少人数別授業・習熟度別授業・TT などにより基礎基本の定着に取り組む。授業研究や相互授業参観などを実施し、指導力向上に努める。</p> <p style="text-align: right;">(教務部)</p>	B
<p>指標 生徒アンケート「授業はよく理解できる」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上とする。また、教員全員の年1回以上の公開授業と年6回の校内研究授業・協議を行う。</p>	

<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 家庭学習の習慣化や学習意欲の持続を目指し、学校元気アップ事業を活用し、ナイトスクールや長期休業中の補充学習会を行う。 (教務部)</p>	B
<p>指標 週1回の以上のナイトスクールの実施。また、長期休業中の補充学習会を合わせて20時間以上実施する。</p>	
<p>取組内容③【施策4 国際社会において生き抜く力の育成】 豊かなコミュニケーション能力を身に付けるために、英語教育の充実を図る。 (教務部・英語科)</p>	B
<p>指標 各学年において、英語検定5～3級程度の生徒の割合を前年度以上とする。特に、3年生の割合は50%以上とする。</p>	
<p>取組内容④【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 多文化共生教育を推進する。 (国際理解教育係)</p>	B
<p>指標 国際理解教育としての総合学習の場を設ける。平和学習や、国際理解教育を各学年で年2回以上行う。</p>	
<p>取組内容⑤【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 多文化共生・国際クラブの活性化 他国の文化や歴史を理解させる。 (国際理解教育係)</p>	B
<p>指標 毎週木曜日に国際クラブの活動を行い、校外での行事にも参加させ、ルーツのある者同士の繋がりも大事にさせる。文化祭で発表を行うことで全生徒にも多文化理解を促したい。</p>	
<p>取組内容⑥【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 大阪市内にある人権・歴史・平和・文化などをテーマとした施設を訪問し、郷土大阪を学び、深める取り組みを行う。 (地域連携係)</p>	B
<p>指標 1年生で大阪市の人権施設、2年生で大阪市の歴史施設・平和施設・文化施設のフィールドワークを年1回以上実施する。また各学年において、年1回以上戦争体験者や地域の福祉施設等に従事されている方々からの聞き取り学習を行う。</p>	
<p>取組内容⑦【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 運動に対する苦手意識を克服し、積極的に体力づくりに取り組む生徒をめざし、保健体育科の授業の工夫と部活動への積極的な参加を促す。 (生活指導部・保健体育科)</p>	C
<p>指標 全国体力・運動能力、運動習慣調査における運動能力の種目について、6種目以上で平成31年度の全国平均を上回る。</p>	
<p>取組内容⑧【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 食に関する指導に取り組み、心身の成長や健康の保持増進の上で、望ましい栄養や食事のとり方を学び、自ら管理していく能力を高める。 (健康教育部)</p>	B
<p>指標 生徒アンケート「朝食を食べている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を90%以上とする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①生徒アンケート「授業はよく理解できる」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合は77%であり、指標値の80以上には届かなかった。3年生の率がよくなかった。教員全員の年1回以上の公開授業と年6回の校内研究授業・協議は実施することができ、お互いの授業研究ができた。</p> <p>取組内容②週1回以上のナイトスクールは実施できたが、新型コロナウイルス感染対策のため長期休業中の補充授業は実施することはできなかった。</p> <p>取組内容③各学年とも帯活動とICT機器を利用した文法導入・音読練習を行い、デジタル教科書も有効に活用した。そして、スペリングコンテスト実施し、基礎学力の定着を行った。</p> <p>取組内容④大阪大空襲や沖縄平和学習、修学旅行における平和学習および国際理解教育に関わる取り組みなど、各学年平和学習に取り組んだ。3学期には、韓国・朝鮮の歴史やソンセンニムの講話など、国際理解教育を行う。</p> <p>取組内容⑤国際クラブに定着している全員がほぼ参加できている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため民俗行事は中止であった。文化祭ではプチェチュムとアピール文を発表した。住吉中校区三校民族交流会も中止であるが、中学校での活動を紹介する予定である。</p> <p>取組内容⑥コロナ禍で、人権に関連する施設を訪問することはできなかった。また、戦争体験者の講話を聴くことはできなかったため、全学年動画で視聴し、2年生では、地域の福祉施設に従事されている方からの聞き取り学習を行うことができた。</p> <p>取組内容⑦長期休校明けに行った体力テストの結果で目標は達成することができなかったが、日々の体育の授業では補強運動を行い、体力の向上に取り組んだ。ICTなど生徒が運動に積極的になるような工夫は適宜取り入れることができた。</p> <p>取組内容⑧1学期中に1クラス1時間ずつ、栄養教諭による食育の授業を実施し、栄養について考える機会を持つことができた。 生徒アンケートの「朝食を食べている」の回答が86%だった。</p>
今後の改善点
<p>取組内容①来年度から始まる新学習指導要領や新しい学習評価に対応していけるように指導内容・方法の改善に努めていく必要がある。</p> <p>取組内容②生徒・保護者アンケート「予習・復習など家庭での学習をよくやっている。」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合が64%と家庭学習の習慣化をもっと定着させる必要がある。</p> <p>取組内容③生徒一人一人がICT機器、特にタブレットを主体的に利用して授業に参加できるように指導、取り組みを行うように努める。生徒同士で英会話できる力をつけるための取り組みを積極的に取り入れる必要がある</p> <p>取組内容④生徒の実態に応じた平和学習や、国際理解教育を行うように努める。</p> <p>取組内容⑤いろいろな活動を通じて、ルーツのある者同士の繋がりを大事にさせるよう努める。</p>

取組内容⑥来年度もコロナ禍での教育活動と想定し、平和登校日に取り組む内容を考えなければならない。また、リバティおおさか施設に代わる取り組みを考える必要がある。

取組内容⑦長期休校明けの全国体力・運動能力、運動習慣調査における運動能力の結果においては、目標達成できなかったが、現在の積み重ねが来年の調査結果につながることを意識させるとともに感染症対策にも注意を払いながら補強運動を充実させ、体力向上を図る。

取組内容⑧来年度以降も栄養教諭による食に関する指導を継続し、栄養バランスのとれた食事のとり方を学ばせたい。保健委員会を中心に朝食をとる大切さを呼びかけ、朝食をとる子どもの割合を増やすよう努める。